

重点14 学習環境の改善

2 耐震補強の状況

ねらい

地震時における幼児・児童・生徒の安全を確保するとともに、地域の防災拠点としての機能向上を図るために校舎・体育館等の耐震性能を向上させます。

現状

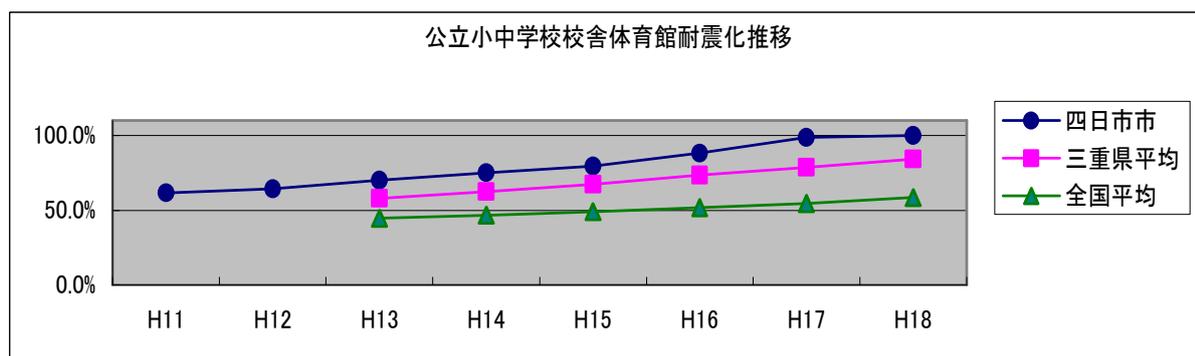
- 昭和56年新耐震基準以前に建設された校舎及び体育館について耐震診断調査を行い、その結果を受けて補強が必要なものについては、耐震鉄筋コンクリート壁の増設、鉄骨筋交いの増設などの補強工事を年次的に施工してきて、小中学校においては平屋建て等の小規模施設を除いて耐震補強工事は完了となっております。

耐震補強事業状況

単位：棟数

区分	全棟数	S57以後	S56以前	補強不要	補強必要	耐震化工事							
						H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	
小学校	校舎	216	94	122	49	73	12	16	7	16	11	4	0
	体育館	40	14	26	9	17	0	0	3	6	8	0	0
中学校	校舎	103	36	67	20	47	10	3	4	7	17	1	0
	体育館	22	8	14	3	11	0	0	3	4	4	0	0
小・中合計	計	381	152	229	81	148	22	19	17	33	41	4	0
	累計						34	53	70	103	144	148	148
	工事進捗率						23.0%	35.8%	47.3%	69.6%	97.3%	100.0%	100.0%
	耐震化率						70.1%	75.1%	79.5%	88.2%	98.7%	100.0%	100.0%
三重県平均耐震化率							57.9%	62.5%	67.5%	73.4%	78.7%	84.2%	84.2%
全国平均耐震化率							44.5%	46.6%	49.1%	51.8%	54.7%	58.6%	58.6%
幼稚園	園舎	35	21	14	9	5	0	0	3	0	0	0	0
	耐震化率						85.7%	85.7%	94.3%	94.3%	94.3%	94.3%	94.3%

※平屋建て等の小規模施設を除く



課題 (今後の方向)

- 小中学校の校舎・体育館の耐震補強事業は、完了しましたが、比較的安全であるとして、平屋建て等の小規模面積の施設については、調査から除かれていたため、確認のため平成19年度にて耐震診断を行いました。その結果を受けて、今後必要なものについては補強を施工していく予定です。